消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】 ●●●

１０．ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者Ａ）

○当事者A	年齢[35]歳、勤続年数[14]年、現場経験年数[14] 年、階級[消防士長] 同様の活動 [頻繁]、任務 [車長]
○当事者B	年齢[25]歳、勤続年数[4]年、現場経験年数[4] 年、階級[消防士] 同様の活動 [頻繁]、任務 [隊員]
○当事者C	年齢[21]歳、勤続年数[4]年、現場経験年数[4] 年、階級[消防士] 同様の活動 [頻繁]、任務 [機関員]
○その他（当事者が４人以上の場合）	

11．事例発生の経過。

	誰が（何が）	なにをした	その他・備考など
経過1	Aが	ストレッチャーから離れる。	
経過2	BとCが	2人でストレッチャーを運用する。	
経過3	ストレッチャーが	なんらかの障害物に接触し脚が畳まれる。	
経過4	傷病者が	ストレッチャーごと落下。	
経過5	Cが	片側を保持していたためバランスを崩す。	
経過6	傷病者が	ストレッチャーごと横転する。	
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】

○事故の場合 ：事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

たまたま、事故にならなかった その他：移動時はベルトをすることを署内で決めていた。

○心理・体調について

a．あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b．注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

〇装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	はい
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

〇活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

〇指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	いいえ

〇その他

l. その他の理由があった。

【事故発生後の取り組みについて】　●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●

〇注意力欠如、焦り等の対策について

〇装備・資機材の対策について

〇活動環境の対策について

〇指揮・情報伝達の対策について